

令和4年度 職員アンケートの結果について

1 回答した職員について

- ・横浜氷取沢高等学校の教職員、41名。

2 質問内容について

グローバル教育に関するアンケート12問を令和5年3月に実施した。質問内容については次の通りである。

(1) 次にあげる教育活動は、グローバル教育人材の育成やグローバル教育の推進に役立っていると思うか。

- ・英語の学校設定科目「コミュニケーションスキルズ」の設置と少人数教育
- ・校内英語スピーチ・プレゼンテーションコンテスト
- ・韓国、オーストラリア、ニュージーランドとの姉妹校等交流
- ・グローバル講演会（横浜市立みなと赤十字病院看護師による講演会）
- ・英検の1次試験会場、GTECの受検
- ・予備校の協力によるネイティブ講師による英検2次対策会
- ・日本赤十字社をはじめとする外部機関との連携

(2) 「グローバル教育研究推進校」の取組の1つとして、グローバル人材の育成に向け、全教科共通のテーマ、「他者の考えを知ることで、自分の考えを広げる指導と評価の研究」を設定したが、授業の中で取組むことができたか。

※なお、このテーマは、県教育委員会の「グローバル人材に求められる力」の記載、及び「生徒による授業評価」の問2、問5に関連付けて設定したもの。

(3) 今後の「グローバル教育研究推進校」の取組として、取り上げてみたい教育活動を答える。【任意回答】

(4) 本校では電子黒板を活用した授業を推進している。どのくらいの割合で利用しているか。「電子黒板を活用した授業」とは、電子黒板が設置されている教室において1回の授業で板書や口頭説明もあわせて活用した授業を表す。

(5) 電子黒板を活用することによって、「生徒が主体的に学習する活動」が増えることが期待されている。生徒の主体的な取組が増えたと思うか。

(6) 電子黒板を活用することによって、「生徒のグループ協働学習の活動」が増えることが期待されている。生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか。

(7) 本校ではタブレット端末を活用した授業を推進している。どのくらいの割合で利用しているか。「タブレット端末を活用した授業」とは、1回の授業において板書、電子黒板、口頭説明もあわせて活用した授業を表す。

(8) ロイロノートを導入して3年目になる。授業の中で、どのくらいの割合で利用したか。

(9) ロイロノートを活用した項目を次の中から回答する。【複数回答可】

- ・生徒への資料・動画等の配信
- ・生徒からの回答の提出
- ・生徒からの課題の提出
- ・生徒の回答の共有
- ・プレゼンテーション
- ・シンキングツール
- ・カメラ・録音機能の活用
- ・自由記述

(10) タブレット端末を活用することによって、「生徒が主体的に学習する活動」の時間が増えることが期待される。生徒の主体的な取組が増えたと思うか。

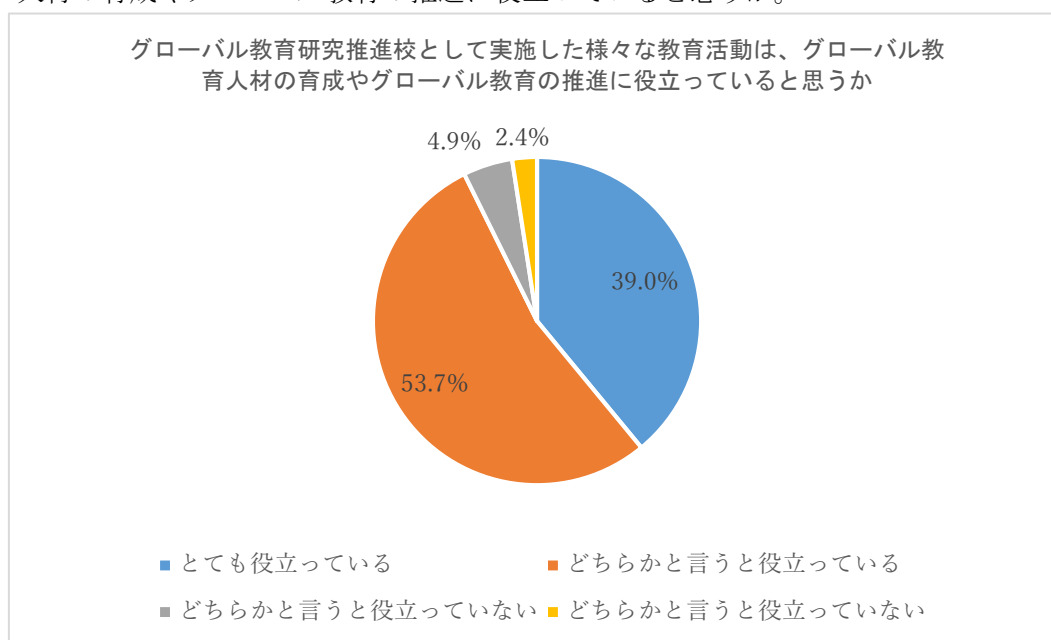
(11) タブレット端末を活用することによって、「生徒のグループ協働学習の活動」が増えることが期待される。生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか。

(12) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業が、生徒の学力育成に対して、どのような影響があると思うか。【任意回答】

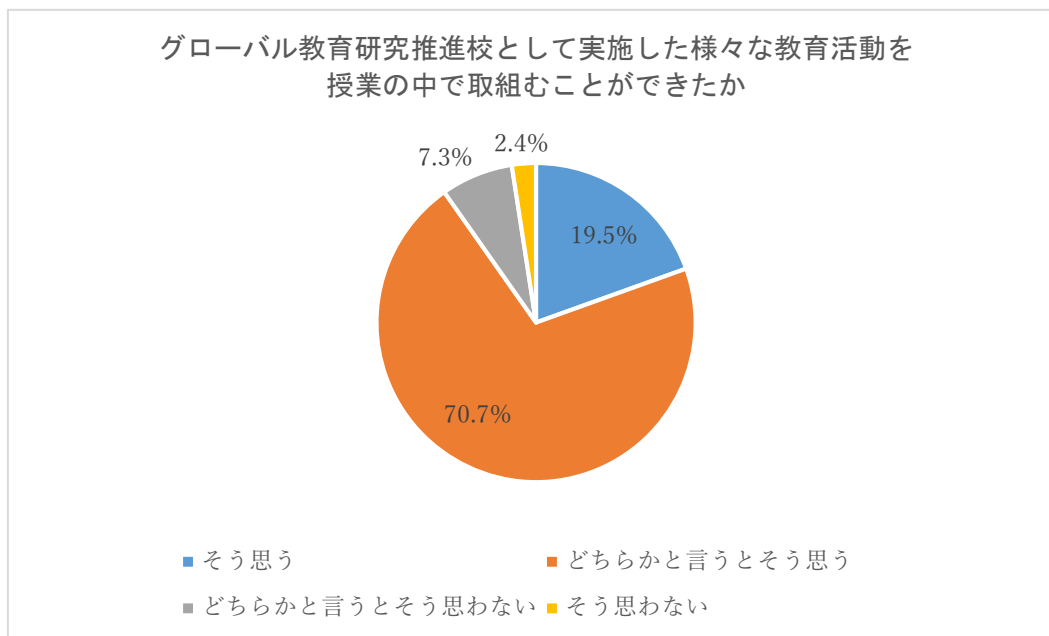
(13) 本校の「総合的な探究の時間」では、SDGsに関わる学習も取り入れている。自分の教科指導の中で、関連した授業展開ができたか。

3 回答結果について

(1) 「グローバル教育研究推進校」として実施した様々な教育活動は、グローバル教育人材の育成やグローバル教育の推進に役立っていると思うか。

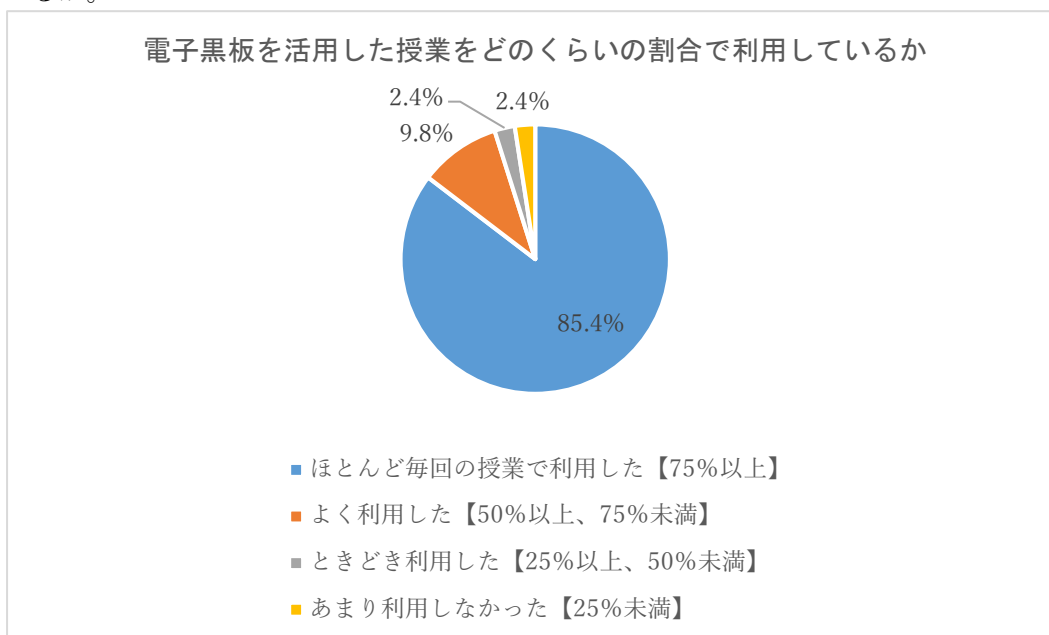


(2)「グローバル教育研究推進校」の取組の1つとして、グローバル人材の育成に向け、全教科共通のテーマ、「他者の考えを知ること、自分の考えを広げる指導と評価の研究」を設定したが、授業の中で取組むことができたか。

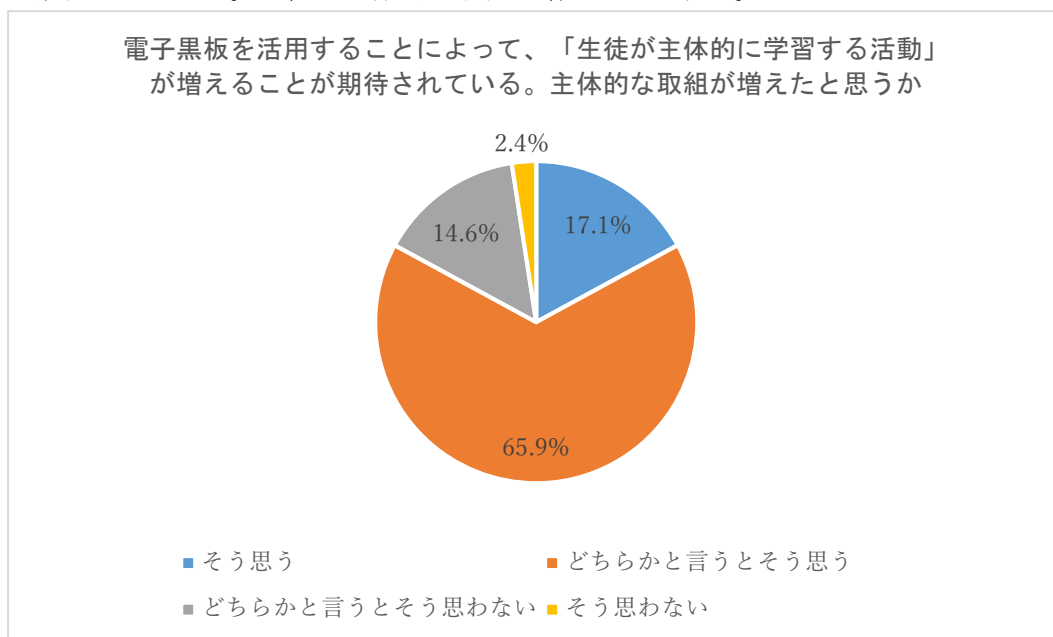


(3) 今後の「グローバル教育研究推進校」の取組として、取り上げてみたい教育活動を答えるは、回答結果を省略します。

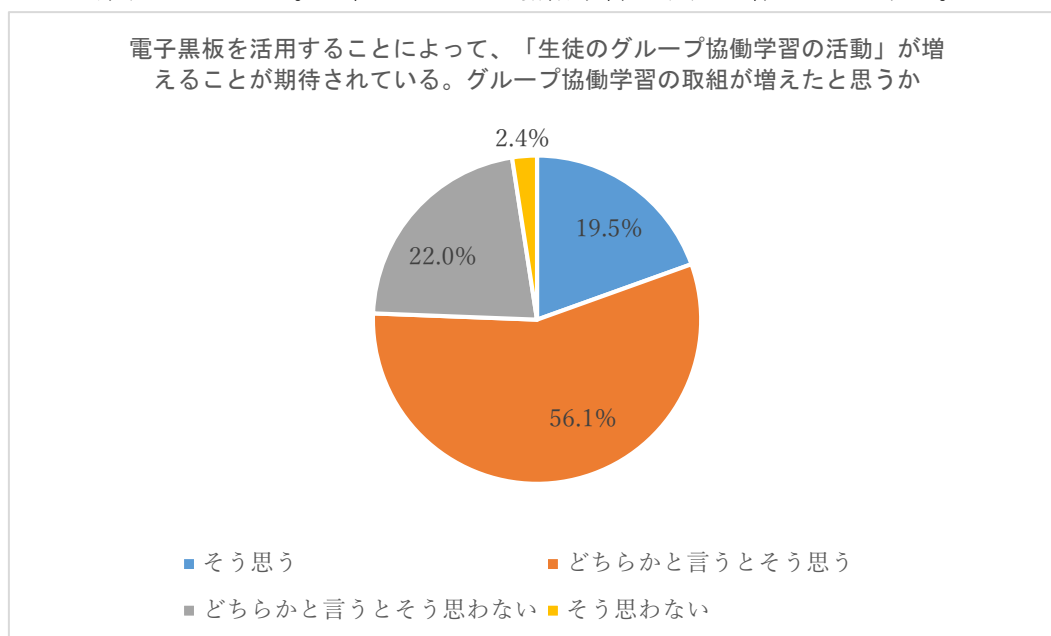
(4) 本校では電子黒板を活用した授業を推進している。どのくらいの割合で利用しているか。



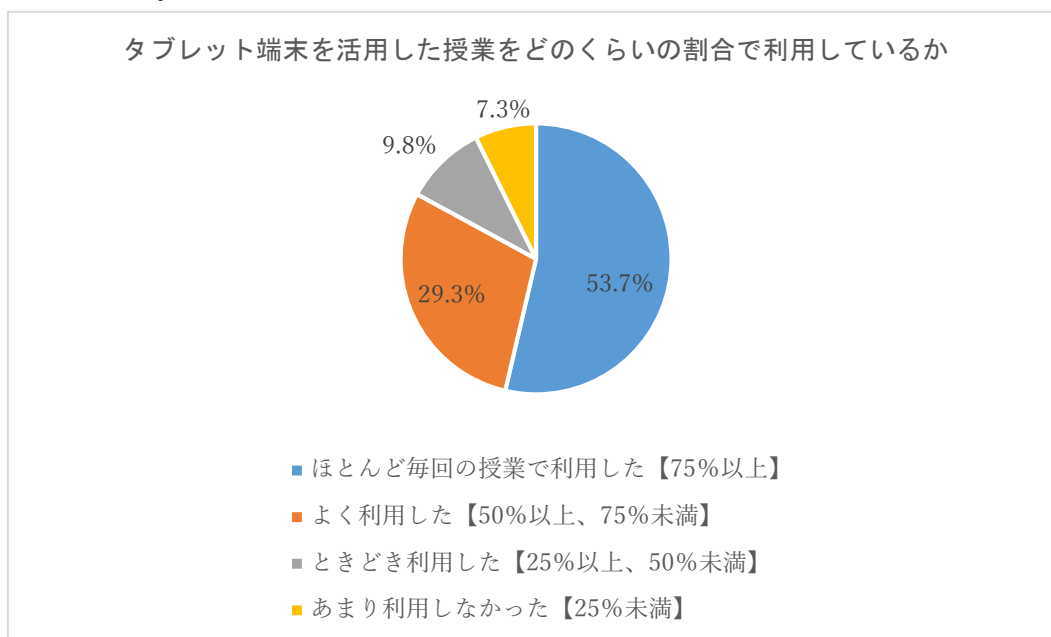
(5) 電子黒板を活用することによって、「生徒が主体的に学習する活動」が増えることが期待されている。生徒の主体的な取組が増えたと思うか。



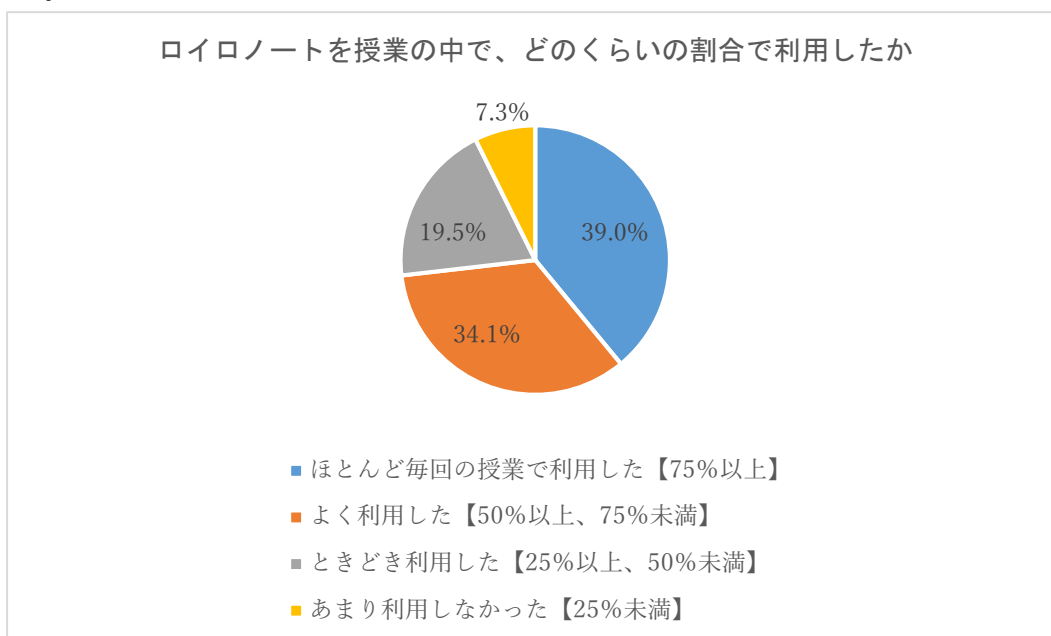
(6) 電子黒板を活用することによって、「生徒のグループ協働学習の活動」が増えることが期待されている。生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか。



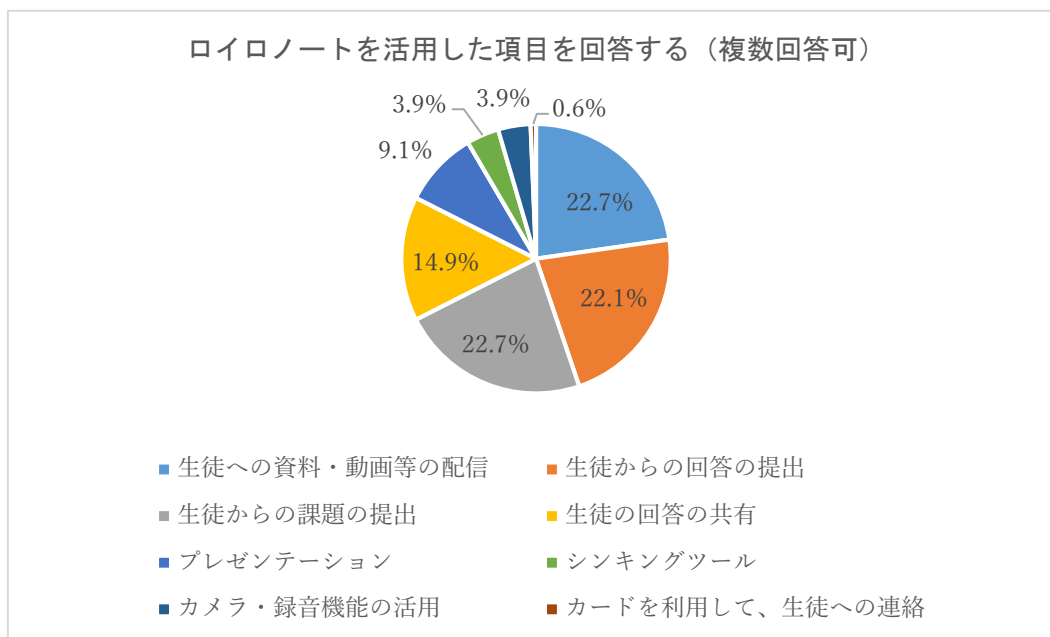
(7) 本校ではタブレット端末を活用した授業を推進している。どのくらいの割合で利用しているか。



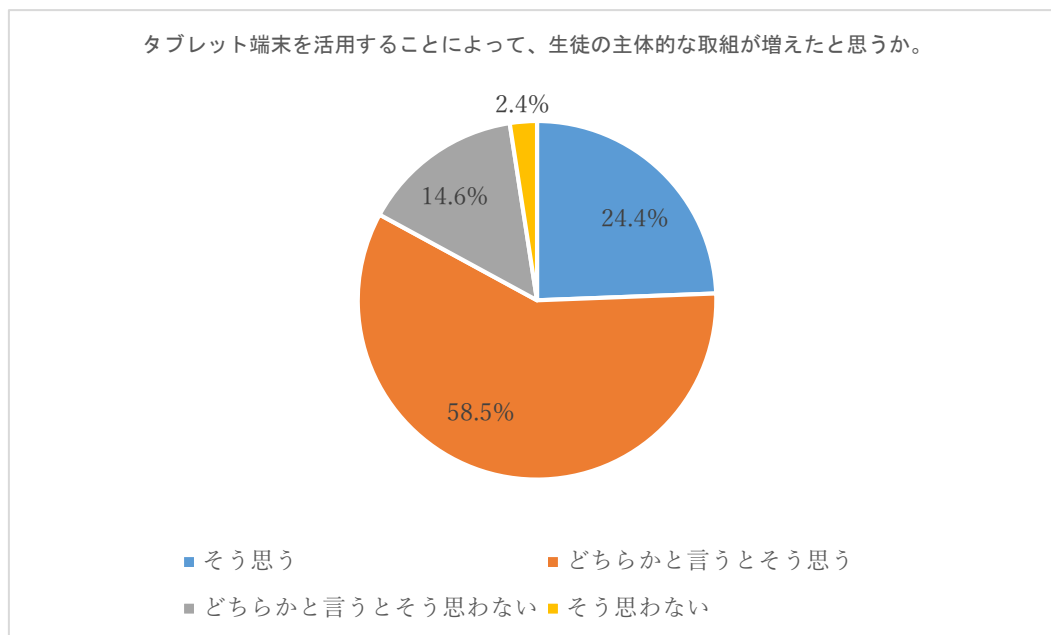
(8) ロイロノートを導入して3年目になる。授業の中で、どのくらいの割合で利用したか。



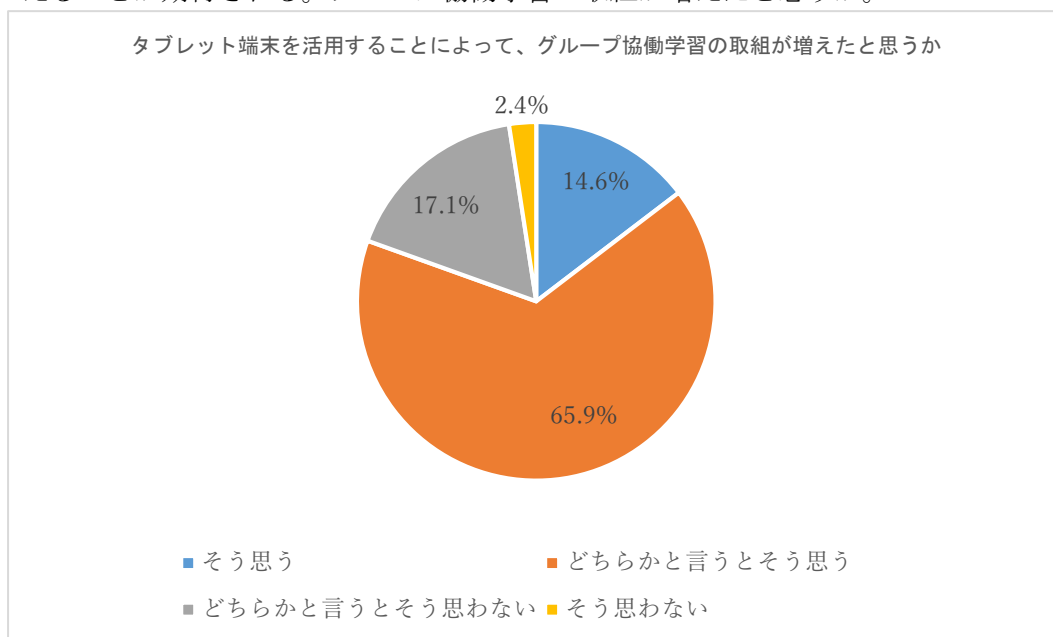
(9) ロイロノートを活用した項目は何か。【複数回答可】



(10) タブレット端末を活用することによって、「生徒が主体的に学習する活動」の時間が増えることが期待される。生徒の主体的な取組が増えたと思うか。

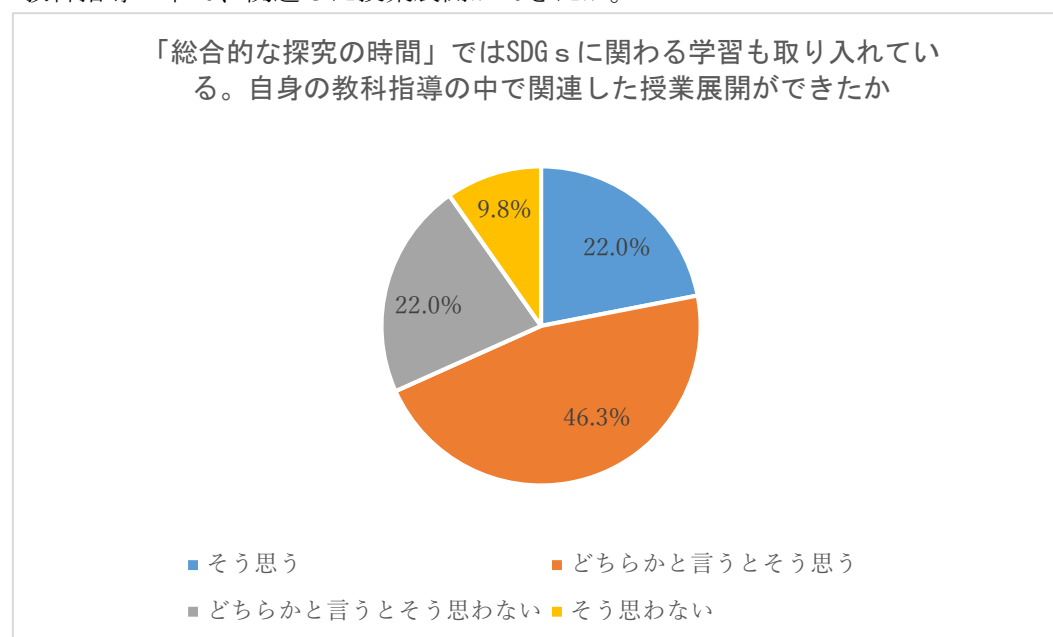


(11) タブレット端末を活用することによって、「生徒のグループ協働学習の活動」が増えることが期待される。グループ協働学習の取組が増えたと思うか。



(12) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業が、生徒の学力育成に対して、どのような影響があると思うか。【任意回答のため、結果は省略】

(13) 本校の「総合的な探究の時間」では、SDGsに関わる学習も取り入れている。自身の教科指導の中で、関連した授業展開ができたか。



4 結果の分析について

肯定的な意見と否定的な意見の回答割合を比較してみると、次の通りになる。

項目	肯定的 (%)	否定的 (%)
(1)「グローバル教育研究推進校」として実施した様々な教育活動は、グローバル教育人材の育成やグローバル教育の推進に役立っていると思うか。	92.7%	7.3%
(2) 全教科共通のテーマ、「他者の考えを知ることで、自分の考えを広げる指導と評価の研究」を設定したが、授業の中で取組むことができたか。	90.2%	9.8%
(4) 電子黒板を活用した授業をどのくらいの割合で利用しているか。	95.2%	4.8%
(5) 電子黒板を活用することによって、生徒の主体的な取組が増えたと思うか。	83.0%	17.0%
(6) 電子黒板を活用することによって、生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか。	75.6%	24.4%
(7) タブレット端末を活用した授業をどのくらいの割合で利用しているか。	82.9%	17.1%
(8) ロイロノートを授業の中で、どのくらいの割合で利用したか。	73.2%	26.8%
(10) タブレット端末を活用することによって、生徒の主体的な取組が増えたと思うか。	82.9%	17.1%
(11) タブレット端末を活用することによって、生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか。	80.5%	19.5%
(13) 本校の「総合的な探究の時間」では、SDGs に関わる学習も取り入れている。自分の教科指導の中で、関連した授業展開ができたか。	68.3%	31.7%

(9) ロイロノートを活用した項目を次の中から回答する。【複数回答可】

※回答総数は154

	割合 (%)
生徒への資料・動画等の配信	22.7%
生徒からの回答の提出	22.1%
生徒からの課題の提出	22.7%
生徒の回答の共有	14.9%
プレゼンテーション	9.1%
シンキングツール	3.9%
カメラ・録音機能の活用	3.9%
カードを利用して、生徒への連絡	0.4%

「(1)「グローバル教育研究推進校」として実施した様々な教育活動は、グローバル教育人材の育成やグローバル教育の推進に役立っていると思うか」や「(2) 全教科共通のテーマ、「他者の考えを知ることで、自分の考えを広げる指導と評価の研究」を設定したが、授業の中で取り組むことができたか」について、肯定的な回答が90%を超えており、グローバル教育研究推進校としての教育活動がグローバル人材の育成に寄与していると考える職員が多い。

「(4) 電子黒板を活用した授業をどのくらいの割合で利用しているか」については、肯定的な回答が95.2%で、ほとんど毎回の授業で利用したとの回答が85.4%であり、電子黒板の利用を前提に授業を行っていることがうかがえる。今後も電子黒板の定期的なメンテナンスや更新がおこなえるのが望ましい。

「(7) タブレット端末を活用した授業をどのくらいの割合で利用しているか」については、肯定的な回答が82.9%で、ほとんど毎回の授業で利用したとの回答が53.7%であり、電子黒板の利用頻度と比べると利用する割合が低いが、肯定的な回答が41人中39名であるので、ほぼ全員が授業できちんと活用しているといえる。

電子黒板やタブレット端末を活用することにより、生徒の「グループ協働学習」や「主体的な取組」が増えたと思うかの質問に対しては【問題6、8、10】、肯定的な意見が約80%前後あり、タブレット等を利用することで、生徒の「グループ協働学習」や「主体的な取組」に効果が上がっていると感じている意見が多い。

「(13)「総合的な探究の時間」では、SDGsに関わる学習も取り入れている。自分の教科指導の中で、関連した授業展開ができたか」との質問では肯定的な意見が68.3%であり、改善の余地がある。

この様なことから、電子黒板とタブレット端末の活用とグローバル教育研究推進校としての教育活動を引き続き進め、総合的な探究の時間と教科指導の関連した授業展開は改善方法の模索をする必要がある。